

# 日本社会福祉学会 第72回秋季大会(2024年度)

## プログラム



# 現代における 社会福祉の本質を探る

会期

2024年 10月 26日(土) ~ 27日(日)

会場

東海市芸術劇場 **1日目**

(愛知県東海市大田町下浜田 137番地 名鉄「太田川駅」駅前 ユウナル東海内)

日本福祉大学 東海キャンパス **1日目** **2日目**

(愛知県東海市大田町下浜田 1071番地 名鉄「太田川駅」徒歩5分)

大会長

原田 正樹 (日本福祉大学 学長)

事務局

日本福祉大学 社会福祉学部

〒477-0031 愛知県東海市大田町下浜田 1071番地

【実行委員長】 保正 友子 (社会福祉学部長)

【事務局長】 斉藤 雅茂 (社会福祉学部 教授)

【事務局次長】 湯原 悦子 (社会福祉学部 教授)

大会ホームページ

<https://www.jssw.jp/conf/72/>





# 開催概要

## 日本社会福祉学会第72回秋季大会

<https://www.jssw.jp/conf/72/>

テーマ 現代における社会福祉の本質を探る

会期 2024年10月26日(土)～27日(日)

現地会場 【1日目午後】 東海市芸術劇場  
(〒477-0031 愛知県東海市大田町下浜田137)  
【1日目午前、2日目】 日本福祉大学(東海キャンパス)  
(〒477-0031 愛知県東海市大田町川南新田229)

大会長 原田 正樹 (日本福祉大学学長)  
実行委員長 保正 友子 (日本福祉大学社会福祉学部学部長)

主催 一般社団法人 日本社会福祉学会  
日本社会福祉学会第72回秋季大会実行委員会

### 参加費

区分	早割料金 ～9月19日(木)	通常料金 9月20日(金)～
会員	8,000円	10,000円
非会員	9,000円	11,000円
大学院生・学部生	3,000円	4,000円
情報交換会	5,000円	

- \* 日本社会福祉学会は、免税事業者のためインボイス非対応です
- \* 正会員の内、大学院生・大学生・専門学校生の学生が、9月19日までに所定の申請手続きをして承認された者は、その年の秋季大会の参加費が免除され無料になります。

◆ 受付窓口 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター  
日本社会福祉学会大会ヘルプデスク第72回秋季大会係  
Fax:03-5227-8632 E-mail:jssw-desk@conf.bunken.co.jp

◆ 運営協力・プログラム冊子編集 株式会社ユピア

# 日本社会福祉学会 第72回秋季大会 タイムテーブル

会場

東海市芸術劇場【1日目午後】

日本福祉大学(東海キャンパス)【1日目午前/2日目】

第1日目 10月26日(土)	1階 生協		11:00~13:00	昼食会場													17:15~19:15	情報交換会
	日本福祉大学(東海キャンパス) 2階 C201	9:00 簡易受付開始	9:30~12:00	スタートアップ・シンポジウム 実践と研究の循環を考える (研究支援委員会)														
	東海市芸術劇場 大ホール				12:00 受付開始				13:00~14:00	開会式 学会賞授賞式				14:15~16:45	大会校企画シンポジウム 生活不安定層への新たなセーフティネット			

9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00

第2日目 10月27日(日)	1階 生協		11:00~13:00	昼食会場															
	3階 N304	終日	昼食会場																
	3・4階 各室		9:30~11:30	□頭発表 A					12:30~14:30	□頭発表 B									
	3・4階 廊下	9:00 ポスター掲示開始				11:30~12:15	ポスター発表												
	3階 S302								12:30~15:00	特定課題セッションI わが国のソーシャルワークは現代政治にどう向き合うのか/向き合ってきたのか (学会企画)									
	2階 C201	9:00 受付開始	10:00~12:00	学術シンポジウム 国際学術交流・研究のあり方を問う (国際学術交流促進委員会)										14:30~16:30	学会企画セッション 社会福祉における「つながること」を再考する -「つながり」と「匿名性」-				



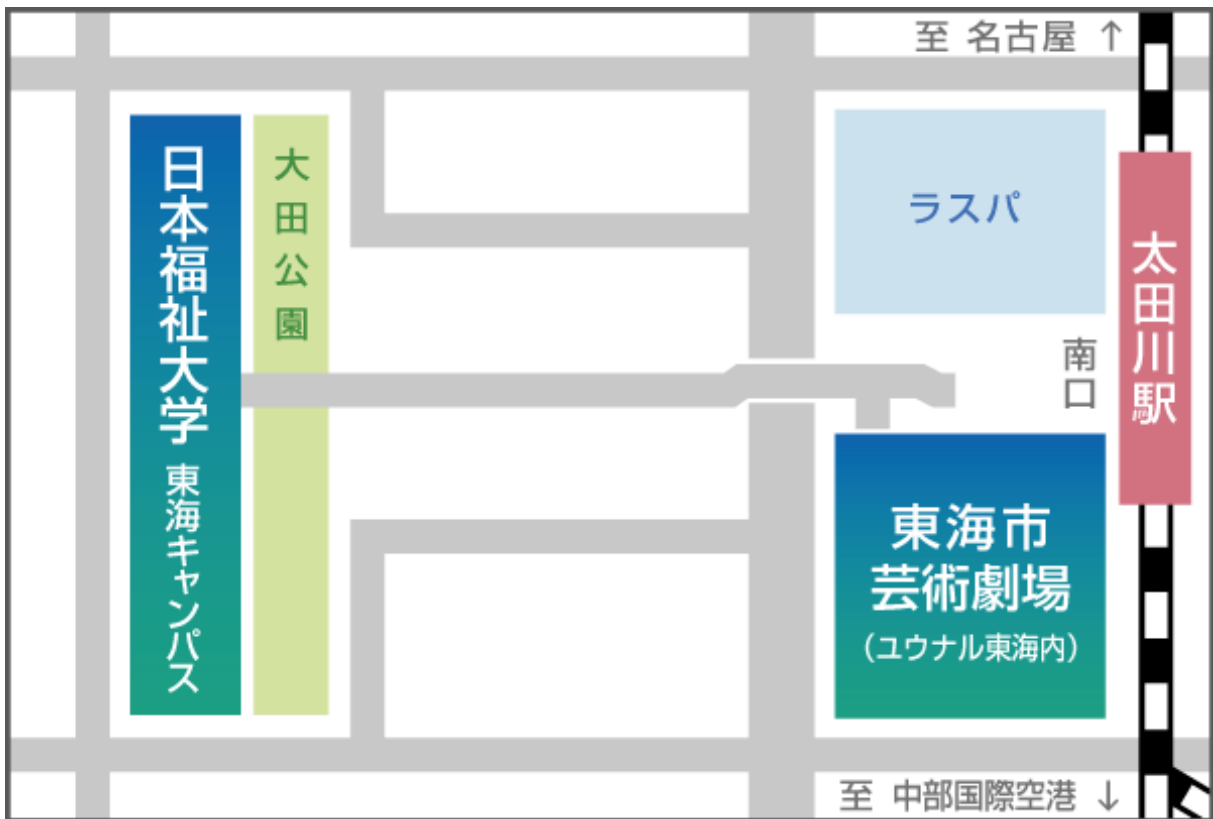
## 会場と配置図

1日目午後

東海市芸術劇場

1日目午前、2日目

日本福祉大学 東海キャンパス



日本福祉大学東海キャンパス外観

# 会場配置図

1日目 午後 東海市芸術劇場

〒477-0031 愛知県東海市大田町下浜田137

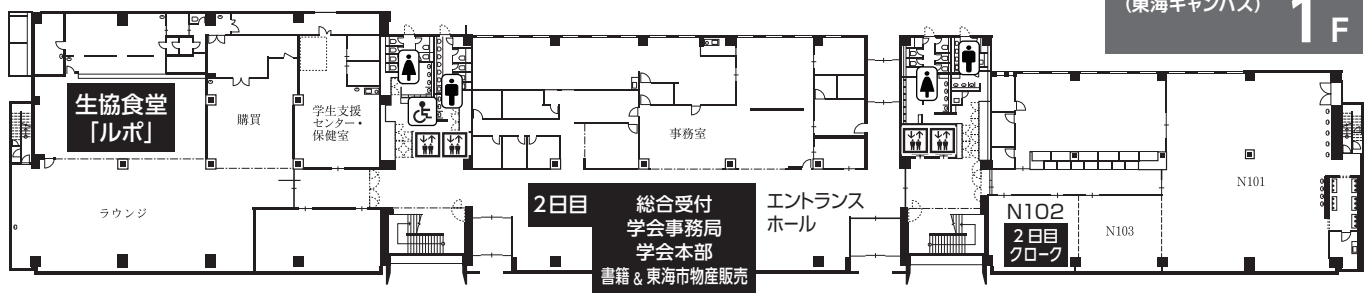
1日目 午前・2日目 日本福祉大学(東海キャンパス)

〒477-0031 愛知県東海市大田町川南新田229

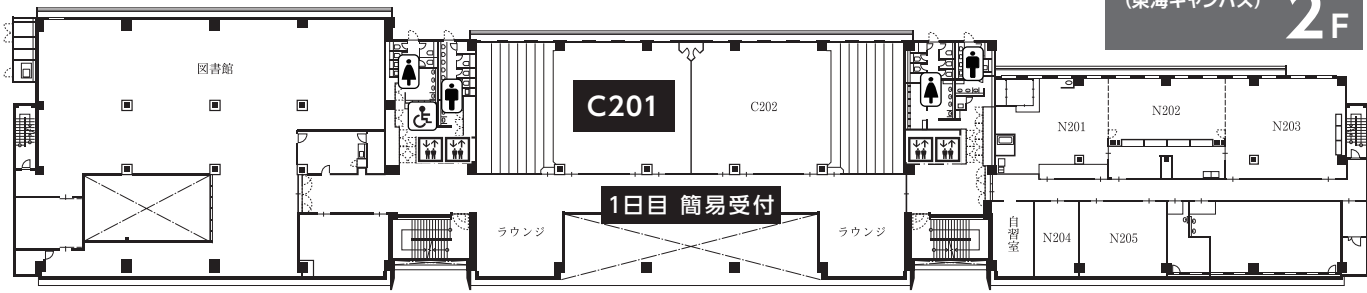


1日目  
東海市芸術劇場 4F

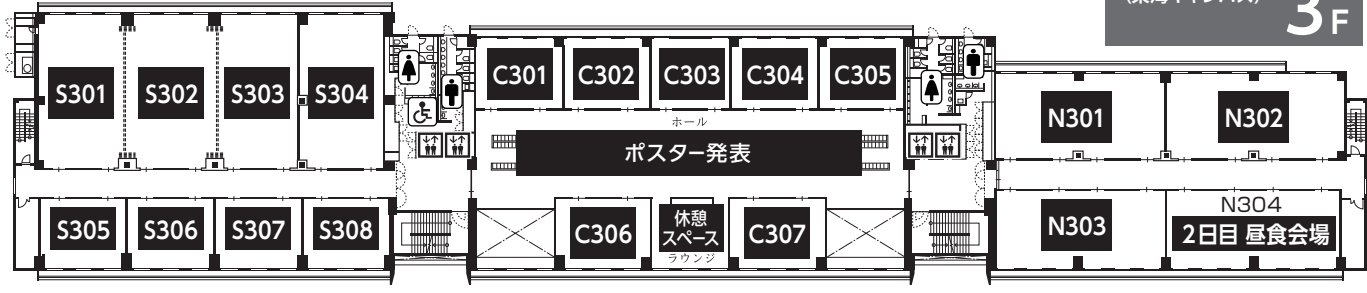
日本福祉大学  
(東海キャンパス) 1F



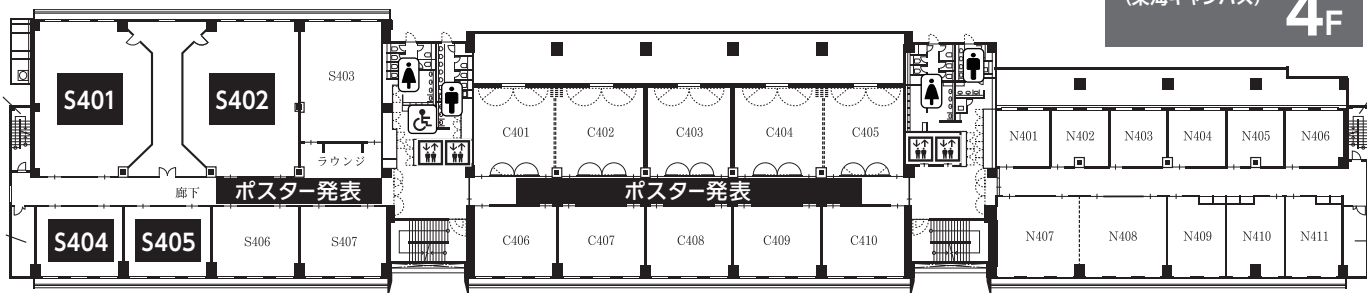
日本福祉大学  
(東海キャンパス) 2F



日本福祉大学  
(東海キャンパス) 3F



日本福祉大学  
(東海キャンパス) 4F



# 参加案内

## 1. 受付

日程	場所	受付時間
10月26日(土) <sup>*</sup>	東海市芸術劇場 4階 大ホールホワイエ	12:00~16:00
10月27日(日)	日本福祉大学 東海キャンパス 1階	9:00~15:30

- ※ 10月26日(土)午前のスタートアップ・シンポジウムについては、9:00より会場前にて簡易的な受付対応を実施します。  
ご参加の方は、直接、日本福祉大学東海キャンパスの2階C201教室へお越しください。

## 大会参加証(名札)を印刷してご持参ください

大会の参加証を持参された方は、受付の必要はございません。  
大会参加証は、大会参加申込システムからオンラインで、ご自身で発行できます。  
会場に用意するネームホルダーに入れてご着用ください。

### <現地会場での当日参加受付について>

- ・ 大会当日は、現金での参加申込の受付は行いません。  
当日であっても、大会参加申込システムからオンラインで申し込みを行い、クレジット決済でお支払いを行ってください。
- ・ 大会参加費免除(学生)の方も、大会参加申込システムからオンラインで申し込みを行ってください。なお、参加費の支払いはありません。

## 2. クローク

日程	場所	対応時間
10月26日(土)	東海市芸術劇場 4階 大ホールクローク	12:00~17:00
10月27日(日)	日本福祉大学 東海キャンパス N102	9:00~15:30

上記のようにクロークを設置します。必ず時間内にお受け取りください。  
情報交換会にご参加の方は、時間内にお荷物を受け取ってから情報交換会の会場(日本福祉

大学東海キャンパス（1階生協食堂）へご移動をお願いいたします。

貴重品はお預かりできませんこと、ご了承ください。

### 3. 昼食・休憩

会場内で飲食が可能な場所は以下の通りです。

昼食をお持ち込みいただいても結構ですが、ゴミはお持ち帰りください。

なお、1階生協食堂と3階ラウンジには飲料の自動販売機があります。

1階生協食堂は、営業時間以外の時間帯も休憩利用ができます。

また、近隣には飲食店がいくつかございます。

日程	場所		時間
10月26日(土)	日本福祉大学 東海キャンパス	1階 生協食堂(営業あり)	11:00~13:00
		3階 ラウンジ	9:00~19:30
10月27日(日)	日本福祉大学 東海キャンパス	1階 生協食堂(営業あり)	11:00~13:00
		3階 ラウンジ(茶菓子提供)	9:00~17:00
		3階 N304	9:00~17:00

### 4. 物産展示・書籍展示

両日とも、受付付近で物産の展示があります(土曜 12:00~17:00、日曜 9:00~15:00)。

また10月27日(日)は、日本福祉大学東海キャンパス1階エントランスホールにて書籍展示を行っています。ぜひご利用ください。

### 5. Wi-Fi

以下のWi-Fiが利用できます。ご自身の責任でご利用ください。

接続のサポートは致しかねますことをご了承ください。

東海市芸術劇場	日本福祉大学東海キャンパス
TokaiCity_Free_Wi-Fi ※フリーWi-Fiです ブラウザから認証操作が必要です	SSID : 0000nfu パスワード : jssw72aut (eduroamも利用できます)

## 6. その他会場内での留意事項

- ・ 会場内は禁煙です。喫煙される方は太田川駅の喫煙スペース等、許可されている場所をご利用ください。
- ・ 発表については、発表者に著作権や肖像権等の権利があります。講演・口頭発表・ポスター発表いずれについても、発表者に許可なく撮影や録音をすることは権利侵害にあたりますのですべて禁止いたします。十分にご留意ください。

## 7. 開催後のオンデマンド配信について

以下のプログラムは、開催の1週間後頃より、会場開催の記録動画をオンデマンド配信する予定です。配信開始時にはご参加の皆様へメールでご連絡します。参加者に限りURLやパスワードをご案内しますので、他の方には伝えないでください。

### <オンデマンド配信対象プログラム>

スタートアップ・シンポジウム、開会式～学会賞授与式、大会校企画シンポジウム、  
学術シンポジウム、学会企画セッション

# プログラム一覧

第1日目 10月26日(土)

日本福祉大学(東海キャンパス)

スタートアップ・シンポジウム 2階 C201 オンデマンド

9:30~12:00

## 実践と研究の循環を考える

(研究支援委員会)

### シンポジスト

- 木佐貫 悦子 氏 (愛知県保健医療局)
- 松本 大樹 氏 (日本福祉大学大学院)
- 山本 綾子 氏 (三重県松坂保健所)

### コメンテーター

- 谷口 由希子 氏 (名古屋市立大学大学院)

### 司会

- 山野 則子 氏 (大阪公立大学/研究支援委員会委員長)

情報交換会

1階 生協食堂

17:15~19:15

## 東海市芸術劇場

開会式

大ホール オンデマンド

13:00~14:00

学会長挨拶

東海市長様挨拶

大会長挨拶

学会賞授賞式

大会校企画シンポジウム

大ホール オンデマンド

14:15~16:45

生活不安定層への新たなセーフティネット

基調講演

宮本 太郎 氏 (中央大学)

シンポジスト

石川 久仁子 氏 (大阪人間科学大学)

垣田 裕介 氏 (大阪公立大学)

川島 ゆり子 氏 (日本福祉大学)

コメンテーター

宮本 太郎 氏 (中央大学)

コーディネーター

山田 壮志郎 氏 (日本福祉大学)

## 第2日目 10月27日(日)

### 日本福祉大学(東海キャンパス)

口頭発表 A 3階・4階 各室 9:30~11:30

学術シンポジウム 2階 C201 オンデマンド 10:00~12:00

#### 国際学術交流・研究のあり方を問う

(国際学術交流促進委員会)

##### 話題提供者

【中国】 崔月琴氏 (吉林大学)  
【フィンランド】 勝井久代氏 (ヘルシンキ大学)  
【日本】 黒木保博氏 (日本福祉大学)

##### コーディネーター

索宏氏 (国際学術交流促進委員会委員・長春人文学院)  
藪長千乃氏 (国際学術交流促進委員会委員・東洋大学)  
梶原浩介氏 (国際学術交流促進委員会委員・西南女学院大学)

ポスター発表 3階・4階 廊下 11:30~12:15

特定課題セッション I 3階 N303 12:30~14:30

#### わが国のソーシャルワークは現代政治にどう向き合うのか／向き合ってきたのか

##### コーディネーター

高木博史氏 (岐阜協立大学)

口頭発表 B 3階・4階 各室 12:30~14:30



## 社会福祉における「つながること」を再考するー「つながり」と「匿名性」ー

## シンポジスト

- 姜 恩和 氏 (目白大学)  
掛川 直之 氏 (立教大学)  
小澤 昭彦 氏 (埼玉県立大学)  
松岡 是伸 氏 (北星学園大学)

## コメンテーター

- 山縣 文治 氏 (関西大学)

## コーディネーター

- 伊藤 嘉余子 氏 (大阪公立大学)

## 口頭発表・特定課題セッション

### 分科会一覧

#### 口頭発表 A 9:30~11:30

発表番号 先頭記号	発表分野	会場	全体統括者、司会者
A01	理論・思想	S306	司会者 : 増淵あさ子、黒田 文 全体統括者 : 杉山博昭(ノートルダム清心女子大学)
A02	歴史①	S305	司会者 : 中嶋 洋、野口友紀子 全体統括者 : 元村智明(東北福祉大学)
A03	制度・政策①	S307	司会者 : 子安由美子、清水潤子 全体統括者 : 秋元美世(東洋大学)
A04	方法・技術①	S308	司会者 : 山口麻衣、川島典子 全体統括者 : 空閑 浩人(同志社大学)
A05	方法・技術②	C301	司会者 : 福島喜代子、上西一貴 全体統括者 : 大島 巖(東北福祉大学)
A06	家族福祉	C302	司会者 : 亀山裕樹、岡 知史 全体統括者 : 後藤澄江(日本福祉大学)
A07	児童福祉①	C303	司会者 : 永野典詞、洪 承載 全体統括者 : 山野則子(大阪公立大学)
A08	児童福祉②	C304	司会者 : 橋本勇人、灰谷和代 全体統括者 : 伊藤嘉余子(大阪公立大学)
A09	障害(児)者福祉①	S301	司会者 : 鈴木 良、池田倫子 全体統括者 : 小澤 温(筑波大学)
A10	障害(児)者福祉②	S302	司会者 : 小田島朋、春木裕美 全体統括者 : 木全和巳(日本福祉大学)
A11	障害(児)者福祉③	S303	司会者 : 大村美保、須江泰子 全体統括者 : 志村健一(東洋大学)
A12	障害(児)者福祉④	S304	司会者 : 麓 正博、竹中正文 全体統括者 : 伊藤葉子(中京大学)
A13	高齢者保健福祉①	N301	司会者 : 原田奈津子、畑 亮輔 全体統括者 : 郭 芳(同志社大学)
A14	高齢者保健福祉②	N302	司会者 : 孫 琳、二渡 努 全体統括者 : 結城康博(淑徳大学)
A15	高齢者保健福祉③	C307	司会者 : 越田明子、福定正城 全体統括者 : 本多 勇(武蔵野大学)
A16	女性福祉・ジェンダー①	C305	司会者 : 柏木志保、明石留美子 全体統括者 : 湯澤直美(立教大学)
A17	地域福祉①	S401	司会者 : 飛田和樹、中田雅美 全体統括者 : 平野隆之(日本福祉大学)
A18	地域福祉②	S402	司会者 : 高杉公人、妻鹿ふみ子 全体統括者 : 榊原美樹(明治学院大学)
A19	貧困・低所得者福祉①	S405	司会者 : 元田宏樹、金子 充 全体統括者 : 新保美香(明治学院大学)
A20	保健医療・医療福祉	S404	司会者 : 巻 康弘、高田 昭 全体統括者 : 高山恵理子(上智大学)
A21	社会福祉教育・実習	C306	司会者 : 井上 浩、松井圭三 全体統括者 : 池田雅子(北星学園大学)

## 口頭発表 B 12:30~14:30

発表番号 先頭記号	発表分野	会場	全体統括者、司会者
B01	歴史②	S305	司会者 : 呉 世雄、高松 誠 全体統括者 : 野口友紀子(武蔵野大学)
B02	制度・政策②	S306	司会者 : 鶴沼憲晴、石田 真 全体統括者 : 木下武徳(立教大学)
B03	制度・政策③	S307	司会者 : 田中 謙、肖 栄栄 全体統括者 : 所 道彦(大阪公立大学)
B04	方法・技術③	S308	司会者 : 宮崎康支、古市孝義 全体統括者 : 小山 隆(同志社大学)
B05	方法・技術④	C301	司会者 : 小松尾京子、大津雅之 全体統括者 : 久保美紀(明治学院大学)
B06	方法・技術⑤	C302	司会者 : 高橋秀人、吉川真由美 全体統括者 : 荒井浩道(駒澤大学)
B07	児童福祉③	C303	司会者 : 大塚美和子、山田勝美 全体統括者 : 澁谷昌史(関東学院大学)
B08	児童福祉④	C304	司会者 : 武藤敦士、斎藤知子 全体統括者 : 栄留里美(西南学院大学)
B09	障害(児)者福祉⑤	S301	司会者 : 鍛冶智子、田中智子 全体統括者 : 結城俊哉(立教大学)
B10	障害(児)者福祉⑥	S302	司会者 : 鈴木 静、中元航平 全体統括者 : 藤井 渉(日本福祉大学)
B11	障害(児)者福祉⑦	S303	司会者 : 清野 絵、福間隆康 全体統括者 : 松本すみ子(東京国際大学)
B12	高齢者保健福祉④	N301	司会者 : 金 圓景、石附 敬 全体統括者 : 大和三重(関西学院大学)
B13	高齢者保健福祉⑤	N302	司会者 : 小川孔美、宮元預羽 全体統括者 : 種橋征子(関西大学)
B14	女性福祉・ジェンダー②	C305	司会者 : 王 静、保田真希 全体統括者 : 宮崎 理(明治学院大学)
B15	地域福祉③	S401	司会者 : 山東愛美、加藤昭宏 全体統括者 : 永田 佑(同志社大学)
B16	地域福祉④	S402	司会者 : 永野叙子、大西玖瑠美 全体統括者 : 村山浩一郎(福岡県立大学)
B17	地域福祉⑤	S404	司会者 : 原田幸男、佐藤亜樹 全体統括者 : 中島 修(文京学院大学)
B18	国際社会福祉	S304	司会者 : 海老澤圭視、松尾加奈 全体統括者 : ヴィラーグ・ビクトル(日本社会事業大学)
B19	貧困・低所得者福祉②	S405	司会者 : 杉田貴行、小泉浩一 全体統括者 : 後藤広史(立教大学)
B20	司法福祉・更生保護	C307	司会者 : 大塚淳子、竹中祐二 全体統括者 : 藤原正範(日本福祉大学)
B21	震災・災害福祉	C306	司会者 : 謝雪こう、古山周太郎 全体統括者 : 大島隆代(文教大学)

## 特定課題セッション 12:30~15:00

発表番号 先頭記号	発表分野	会場	コーディネーター
S1	特定課題セッション1	N303	コーディネーター: 高木 博史(岐阜協立大学)

## 口頭発表 A 発表一覧

発表番号	題目	発表者
A01-01	「革命的ソーシャルワーク」は何を問い直そうとしているのか？ ケアとコントロールの認識論的枠組みを問い直す(その①)	伊藤 文人
A01-02	支配／抵抗としてのケア:米軍統治下沖縄の福祉を再考する ケアとコントロールの認識論的枠組みを問い直す その(2)	増淵 あさ子
A01-03	End of Life Careにおける支援概念の固有性	松久 宗丙
A01-04	「ニーズ解釈の政治」からみたソーシャルワーク役割に関する予備的 考察 「きょうだい児」の支援を手がかりに	黒田 文
A02-01	戦時体制下における方面委員制度 軍事扶助法との葛藤	竹鼻 始
A02-02	「老人福祉」への理念的枠組みの転換はいつ、いかにしてなされた のか	中嶋 洋
A02-03	福祉国家以降の歴史研究における分析枠組み 福祉を多元的に捉える	野口 友紀子
A02-04	宇部炭田における生活困窮者救済 山口県小野田市を事例として	平 将志
A03-01	福祉職としての就労継続と離職に影響を及ぼす要因に関する研究 福祉系専門学校卒業生を対象とした調査をもとに	Koyasu Yumiko
A03-02	福祉業界における人材育成の現状について 文献レビューに基づく分析	小畑 奈保美
A03-03	包括的支援体制整備の評価枠組み構築に向けた試行的調査 重層的支援体制整備事業の主管課職員の評価経験・意識に着目し て	清水 潤子
A04-01	テクノロジーを活用したソーシャルワーク実践 ソーシャルワーカーのテクノロジー活用に対する経験と思い	山口 麻衣
A04-02	「ゆらぎ」経験における職業的アイデンティティ形成過程の研究 地域包括支援センターにおけるソーシャルワーカーのナラティブか ら	高村 雅代
A04-03	高齢男性をサービス利用につなげる新たな支援過程の検討 ソーシャルワークの仲介機能の再考を通じて	山本 大輔
A04-04	AIが福祉専門職の業務を代行する際に必要な倫理に関する研究 M-GTAと量的調査の混合研究法による調査結果を通して	川島 典子
A05-01	社会変革としてのソーシャルアクションの実践方法についての検討 障害のある性暴力被害者に関する刑法性犯罪改正へのプログラム 評価を通じて	岩田 千亜紀
A05-02	ひきこもり状態にある人が本人の望む方向へ変化した支援実績 市町村社会福祉協議会の自治体の人口規模、高齢化率、財政力との 関係に焦点をあてて	福島 喜代子
A05-03	地域での対人援助実践における終結の要件 社会福祉協議会職員全国調査自由記述の分析	上西 一貴
A05-04	ひきこもりの子どもをもつ父親がフォーマルな社会資源を利用する までのプロセス 複線経路等至性モデリング(TEM)を用いて	安藤 佳珠子

発表番号	題目	発表者
A06-01	社会資源の利用において母親ケアラーが直面する困難の検討 ケアを担う子どもの母親の語りから	亀山 裕樹
A06-02	非正規雇用下のシングルファーザー 文献調査による検討	小野江 優介
A06-03	なぜ自死遺族の自助グループはグリーフケアを拒絶するのか 遺族と死別体験者の区別	岡 知史
A07-01	小・中学校教諭がスクールソーシャルワーカーの存在価値を認める プロセス	増田 奈苗
A07-02	保育士等を対象とした「こども家庭ソーシャルワーカー」に関する 意識調査からの検討(1) アンケート調査の質的研究の分析から	永野 典詞
A07-03	保育士等を対象とした「こども家庭ソーシャルワーカー」に関する 意識調査からの検討(2) アンケート調査の量的研究の分析から	立花 直樹
A07-04	スクールソーシャルワーカーの語りで見られた実践上の困難 一人職場の孤立を避けるために	洪 承載
A08-01	子育て支援者の規範的論理 子育ての社会化と親役割規範に着目して	一瀬 早百合
A08-02	児童養護施設における働き続けることができる職場環境の諸要因 子どもの最善の利益に関するアンケート調査を通して	座安 晃生
A08-03	社会福祉・保育実践の前提となる「日本国憲法から見た子どもの 権利条約」 子どもの権利条約 第3条・第6条・第2条・第12条を中心として	橋本 勇人
A08-04	保育者の視点による要保護児童等への支援モデルの検討 支援シートの活用と OODA ループを手掛かりに	灰谷 和代
A09-01	強度行動障害のある重度知的障害者の入所施設と一人暮らしの 生活の質の比較研究 量的/質的調査を伴うアクションリサーチ法に依拠して	鈴木 良
A09-02	知的障害者の暮らしの場の移行を取り巻く高齢期の親の意識 知的障害者家族へのインタビュー調査からの考察	北村 綾子
A09-03	行動障害のある知的障害者の家族同居の様相 知的障害者家族へのインタビュー調査からの考察	池田 倫子
A09-04	相談支援専門員による軽度知的障害者の意思決定支援における 影響要因 障害福祉サービスの利用等にあたっての意思決定支援ガイドライン の視点から	小林 麻衣子
A10-01	医療的ケアのある重症心身障害児と同年代の子どもが共に遊ぶ機 会の検討 地域住民を対象としたアンケート調査の自由回答分析から	望月 太敦
A10-02	重症心身障害のある医療的ケア児を育てる世帯の課題に関する 検討 ひとり親世帯とふたり親世帯のインタビュー調査から	小田島 朋
A10-03	障害者家族の研究における家族の「当事者性」 ケアの家族依存からの脱却と「家族」であることへの支援	藤原 里佐
A10-04	医療的ケア児の家族支援に関する研究動向 母親の就労の位置づけを探る	春木 裕美

発表番号	題目	発表者
A11-01	地域で暮らし続けるための社会資源の整備と拡充の必要 重症心身障害者の親へのインタビュー調査から	山下 幸子
A11-02	地域生活支援拠点等におけるコーディネーターに求められる役割や 業務等の明確化のための研究 その(1) 地域生活支援拠点等コーディネーターの配置状況等アン ケート調査	大村 美保
A11-03	地域生活支援拠点等におけるコーディネーターに求められる役割や 業務等の明確化のための研究 その(2) 地域生活支援拠点等コーディネーターの連携・協働好事例 調査	須江 泰子
A11-04	日本の農福連携とドイツの社会的農業(ソーシャル・ファーム) ソーシャル・ファーム(社会的企業)の視点をふまえて	細川 富美子
A12-01	知的障害者福祉法制定前の社会問題化から政策形成の過程 国会における議論に着目して	坂倉 智大
A12-02	自閉スペクトラム症の諸症状と「意味世界」形成の問題 「強度行動障害」者への実践とその発達論的分析から	麓 正博
A12-03	施設コンフリクトの当事者による捉え方 Xダルクのグループホーム移転における反対運動に焦点を当てて	神永 尚輝
A12-04	(自立支援)協議会における設置と運営における官民協働の意義 長野県西駒郷関係者へのインタビュー調査から	竹中 正文
A13-01	介護支援専門員における医療従事者への連携意識がACPの実践に 及ぼす影響	牧原 拓矢
A13-02	在宅サービス事業所における地域包括ケア推進に向けた連携の現 状と課題 在宅サービス事業所への調査から	原田 奈津子
A13-03	居宅介護支援事業所の介護支援専門員のワーク・エンゲイジメント 構造方程式モデリングによる検証	畑 亮輔
A13-04	日韓高齢者在宅ケアサービスの政策比較分析 Gilbert & Terrellの算出分析ツールを活用して	ミン ユンギョン
A14-01	福祉サービス提供に影響する要因分析(1) 特別養護老人ホーム	任 セア
A14-02	福祉サービス提供に影響する要因分析(2) 認知症共同型生活介護	孫 琳
A14-03	高齢者向け住まいにおける管理者の業務に関する研究 ソーシャルワーク機能との関係に焦点をあてて	手島 浩司
A14-04	訪問系介護サービスで就労する外国人介護福祉士が就労を継続す るプロセス M-GTAによる外国人介護福祉士のインタビューの分析	二渡 努
A15-01	生活支援ハウス入居高齢者の福祉的ニーズの構造 基礎自治体による福祉施策の独自性	越田 明子
A15-02	軽度要介護高齢者における参加の特徴 主観的参加に着目した本人・家族へのインタビュー調査より	太田 健一
A15-03	社会的インパクト投資を活用した多様な通いの場づくりの推進によ る社会関係促進効果の検証 1年後の中間調査より	福定 正城
A15-04	入居者が主体として尊重される「場のちから」に関する実証的考察 ユニットケアにおけるエスノグラフィー調査より	黒田 由衣

発表番号	題目	発表者
A16-01	出生前にダウン症の確定診断を受けた後「中断」の選択をした人への支援 中断を選択した女性の語りより	杉田 穂子
A16-02	日本型福祉国家による女性の生・身体への介入 ミシェル・フーコーの「生権力」論を手がかりに	房 冀洲
A16-03	生きづらさを抱える女性の現状と支援のニーズ 自殺念慮のある女性に対する調査から	柏木 志保
A16-04	アメリカのワーキングマザーの就労継続と子育て 質的調査から得た知見	明石 留美子
A17-01	民生委員が保有する相談相手とのネットワークタイプと援助成果の 関連 ネームジェネレータによる他者関係の把握	飛田 和樹
A17-02	コミュニティソーシャルワーカーの役割に関する一考察 釜山市A総合社会福祉館における実践を通して	中田 雅美
A17-03	成果評価を通して中間支援組織の有用性と可能性を模索する 孤独・孤立問題の解消に向けた取り組みから	遅 力榕
A17-04	ケアリングコミュニティ理論の哲学的・思想的価値について 近年の福祉のメタ理論(哲学的)研究の動向を踏まえて	大石 剛史
A18-01	社会福祉施設による地域における公益的な取組に対する資源マネ ジメントの効果に関する研究	高杉 公人
A18-02	社会福祉法人の地域貢献活動の諸相 それはどのようなコミュニティソーシャルワーク実践なのか	妻鹿 ふみ子
A18-03	刑事施設出所者の語りから考える出所後の「社会復帰」計画 当事者のフォーカス・グループ・インタビューをもとに	安高 真弓
A18-04	コミュニティケアの新しい担い手、ケア社会的協同組合 韓国の生活協同組合を母体とする社会的協同組合の事例分析を中 心に	ジョ ヨソ
A19-01	発表取り下げ	
A19-02	イギリスにおける生活困窮者支援の実施プロセスに関する研究 就労訓練の視点から	岩満 賢次
A19-04	行政による低所得者支援は社会構造の変化に「対応」できたのか バブル崩壊からリーマンショックそしてコロナ禍まで	元田 宏樹
A20-01	生活課題を抱える事例からみえるソーシャルアクション 医療ソーシャルワーカーの実践から	森川 尚子
A20-02	医療ソーシャルワーカーが学生に期待する実習前に習得すべき技能 北海道における実習受入医療機関へのアンケート調査から	巻 康弘
A20-03	精神障害と糖尿病を有した方に対する リカバリー志向の糖尿病自 己管理支援プログラムの開発	高田 昭
A20-04	慢性疾患を抱える子どもに特化した就労支援 ハローワークとこども病院の連携実践から	城戸 貴史
A21-01	実習ワークシート集を用いた学生の使用感 ソーシャルワーク実習に実習ワークシート集を用いてみての考察	井上 浩
A21-02	社会福祉のNIE授業実践の経年変化比較	松井 圭三
A21-03	社会福祉士養成課程に在籍する大学生を対象としたソーシャルワー ク・アプローチ教育における学習事例漫画の開発と活用効果の検 討 川村隆彦2020の学習方式を応用して	岩川 奈津

## 口頭発表 B 発表一覧

発表番号	題目	発表者
B01-01	アメリカにおけるLARA救援活動の組織化及び運営と平和活動の同期化 Clarence Pickett の軌跡を軸とした考察	西田 恵子
B01-02	韓国におけるLARA救援活動の展開に関する基礎研究 史実のエビデンスを求めて	呉 世雄
B01-03	岡山孤児院児童養護実践における聖書的思考の影響 明治25年「石井十次日誌」の記述を中心に	高松 誠
B01-04	児童福祉分野における「養護」概念の原点	渡辺 暁
B02-01	後見活動を「継続したい」という思いに至るプロセス 後見支援員に対するインタビュー調査を踏まえて	鵜沼 憲晴
B02-02	市民後見人が発揮する弱いアドボケートとは A市後見支援センターの「A市市民後見人養成講座」の アンケート調査 データ2017-2023の計量・質的分析	香山 芳範
B02-03	介護保険制度導入時における保険者単位の決定過程 プロスペクト理論に基づくプロセス分析	石田 真
B02-04	発達障害のある子どもへの必要な政策支援 韓国の事例を中心に	李 宣英
B03-01	「こども家庭ソーシャルワーカー」創設までの道程 「並列」と「上乘せ」の折衷としての<認定>資格	樋澤 吉彦
B03-02	戦後日本の療育事業整備における民間事業者の果たした役割に関する 事例研究 東京都久留米町・東久留米市「杉の子学園」に焦点をあてて	田中 謙
B03-03	介護保障における介護保険法と老人福祉法の問題点と課題 高齢者介護保障を受ける権利の実現のために	肖 栄栄
B03-04	中国における地域高齢者介護政策の優先事項と格差に関する考察	斉 少傑
B04-01	成年後見活動における意思決定支援の構造とその関連要因 第三者後見人等に対する量的調査	笠原 幸子
B04-02	ソーシャルメディアはどこまでソーシャルワークたりうるか 海外事例の検討を踏まえて	宮崎 康支
B04-03	福祉関連領域における支援者が利用者から受けるハラスメントに関する 研究	古市 孝義
B04-04	女性支援新法が求める公的機関と民間団体との協働に関する一考察: 明石市における民間団体6ヶ所に対する半構造化面接調査の質的分析 結果より	山中 京子
B05-01	ソーシャルワーク教育にフォトボイスを用いた自己省察を促進する学習 プログラムの実施と評価 フォトボイスの内容分析を中心に	大山 博幸
B05-02	ボランティア活動における学生の主体性発揮を育てる方策の検討	野坂 洋子
B05-03	スーパービジョン機能を有する事例検討会におけるスーパーバイザーの 機能と役割	小松尾 京子
B05-04	「閉じられた自己」という側面から考察する「自己覚知」の展開 多面的視点から援助者としての自己を把握する手法の構築に向けて	大津 雅之



発表番号	題目	発表者
B06-01	ICD-11 V章の生活機能の既存統計への活用に関する研究 「令和4年全国在宅障害児・者等実態調査」を例に	高橋 秀人
B06-02	「ソーシャルワーカーのネットワーキングスキル」 精神保健医療福祉領域におけるスキルの可視化	吉川 真由美
B06-03	医療ソーシャルワークにおける専門的実践に関する現状と課題 ソーシャルワーカーの内的条件に着目して	川上 里菜
B07-01	社会環境との関係性から見た発達障害の可能性のある学齢期の子 どものレジリエンス	朝岡 健吾
B07-02	保護者ケース会議を含むチーム支援が保護者の「子ども理解」に及 ぼした影響 保護者へのインタビュー調査の分析から	大塚 美和子
B07-03	社会的養護における外国ルーツの思春期児童への自立支援に関す る研究 施設職員へのインタビュー調査に基づく探索的研究	山田 勝美
B07-04	A市内の高校生のヤングケアラーの実態調査 A市の特徴と高校生対象の調査に生じる課題	寺田 千栄子
B08-01	歴史研究からみる母子生活支援施設の現在地と今後の課題	武藤 敦士
B08-02	母子生活支援施設における支援の源流を辿る 神戸婦人同情会母子の家と秋田婦人ホームに関する文献研究を通 して	堺 恵
B08-03	裁判記録を用いた児童虐待死亡事例の再検証からの考察 事例研究会を活用した専門職の人材育成に向けて	斎藤 知子
B09-01	知的障害者の「親ばなれ子ばなれ」の概念整理に向けた研究 「親亡き後」問題を手掛かりとして	Kazutaka Matsumoto
B09-02	障害児・者の家族研究の位置づけについての予備的考察 知的障害児・者の親を対象とした研究の動向から	鍛冶 智子
B09-03	障害者家族における子殺し研究 ジェンダー視点からの再考察	田中 智子
B09-04	入所施設からの地域移行支援にかかわる支援者の成功体験の重要 性 西駒郷地域生活移行支援に着目して	三村 仁志
B10-01	エイブリズム論の展開とその理論的位置 批判的エイブリズム研究を手がかりに	志田 圭将
B10-02	障害者差別解消法をめぐる障害当事者団体の見解はなにか 当事者運動に連帯可能なソーシャルワークの理論的視座の検討に 向けて	佐伯 賢
B10-03	入所施設における虐待に関する法的課題 知的障害のある人の人権保障に着目して	鈴木 静
B10-04	知的障害のあるわが子の療育手帳利用に対する母親の思いに関す る一考察 療育手帳の取得・活用への意味づけを中心に	中元 航平

発表番号	題目	発表者
B11-01	精神障害のある人や家族の抱える困難と医療・福祉へのニーズ調査モニターを対象としたオンライン質問紙調査	清野 絵
B11-02	精神障がい者と発達障がい者の組織適応に関する比較研究 個人要因, 職務要因, 上司要因に焦点を当てて	福間 隆康
B11-03	「入院者訪問支援事業」が入院者の権利擁護を果たせるものとなるために 大阪精神医療人権センターの実践との比較から	上坂 紗絵子
B11-04	ピアサポート事業利用における入院患者の意思表示機会創設の必要性	黒須 依子
B12-01	認知症高齢者の意思決定支援のためのソーシャルワーク実践の実態 地域包括支援センターの社会福祉士への調査を通して	金 圓景
B12-02	認知症高齢者におけるバーチャルリアリティー試聴を取り入れた回想法の効果検討	大村 直子
B12-03	重度要介護者の施設入所率と在宅サービスの種類別利用率に関する 過疎地域と非過疎地域の比較 地域包括ケアシステムの地域間格差についての考察	石附 敬
B12-04	市区町村介護保険者における重度要介護者の介護保険サービス利用の決定要因 在宅介護と施設介護の利用視点から	金 吾燮
B13-01	家族ケアへの依存から生み出された高齢者の社会的孤立を捉える 養護老人ホーム入所者のケースファイル分析を通して	今村 洋子
B13-02	高齢者虐待対応における高齢者と養護者の関係性の再構築に向けた養護者支援 地域包括支援センターの社会福祉士へのヒアリング調査を通して	高橋 通江
B13-03	デジタルデバイドに陥らないための高齢者へのスマホ相談支援方法の検討 大学におけるスマホサロンにて支援する学生へのインタビュー調査から	小川 孔美
B13-04	介護殺人の類型化に関する研究 介護支援専門員による意識調査より	宮元 預羽
B14-01	性的人格権から〈セクシュアリティ法〉を描写することの意味と有効性 その分類(領域化)の試み	片居木 英人
B14-02	雇用におけるジェンダー平等の現状と課題 社会保障とのつながりから	王 静
B14-03	DV加害者プログラムのファシリテーターが直面する困難性に関する考察 プログラム実践におけるファシリテーターの語りから探る	西川 由紀
B14-04	放課後児童クラブ(学童保育)を利用する家族の生活と「二次的依存」	保田 真希
B15-01	地方都市で暮らす在留外国人の実態調査 在留外国人と地域社会	岡崎 昌枝
B15-02	社協職員による外国人支援・協働実践の構造に関する研究 「ソーシャルワークにおける文化的コンピテンス尺度」の開発を通して	岸本 尚大
B15-03	社会福祉協議会における相談支援体制の課題 生活福祉資金貸付制度に焦点をあてて	山東 愛美
B15-04	地域福祉推進の「主体形成」の方法論に関する予備的調査 タイ・チェンマイの中山間地域における現地調査から	加藤 昭宏

発表番号	題目	発表者
B16-01	被後見人等の終末期における市民後見人が感じる困難 死後事務を経験した市民後見人に焦点をあてて	永野 叙子
B16-02	障害者と共に暮らす人々の価値観に関する研究 キャンプヒル・コミュニティのボランティアへのインタビューを通じて	大西 玖瑠美
B16-03	地域住民主体のまちづくりから考察するインクルーシブ・コミュニティ形成の要件	小野 瑠夏
B17-01	島嶼におけるソーシャル・キャピタルの課題 要援護高齢者の支援を通して	原田 幸男
B17-02	高齢者等のセルフ・ネグレクトと多頭飼育崩壊 動物保護団体と社会福祉行政・機関の連携が本人とペット・地域コミュニティに及ぼす影響	佐藤 亜樹
B17-03	青年当事者が認識する孤独に関するコンセプトマップ(Concept Map)の研究	権 順愛
B18-01	高齢分野におけるソーシャル・キャピタル研究の国際動向 計量書誌学によるネットワーク分析を用いて	海老澤 圭視
B18-02	バングラデシュの児童養護施設における子どもの自律と保護 性にまつわる言説と実践に着目して	木原 琴
B18-03	フィジー共和国の事例にみるソーシャルワーク教育と実践 仏教ソーシャルワークというindigenous social work への批判的思考	松尾 加奈
B18-04	退職高齢者の老後資産形成に関する探索的研究 資産実態調査による日韓比較分析	李 省翰
B19-01	報告書に見る生活保護ケースワーカーに対する研修について テキストマイニングによる考察	杉田 貴行
B19-02	「救護施設不要論」の背景と反対論陣等に関わる展開 1976(昭和51)年, 行政管理庁勧告に対する国会質疑を中心に	小泉 浩一
B19-03	アメリカの2世代支援策 その実態と福祉政策における位置づけ	根岸 毅宏
B20-01	ソーシャルワーカーに求められる被害者支援への関与 犯罪被害者のニーズに絡めて	大岡 由佳
B20-02	犯罪被害者等支援の総合的対応窓口および支援の充実に向けて 地方公共団体の窓口の稼働状況に係るインタビュー調査等から	大塚 淳子
B20-03	法律事務所で福祉的支援ニーズがある事例の類型化と司法福祉の 実践力 愛知県内の法律事務所への調査から	宮田 千佳子
B20-04	犯罪をした人の立ち直りへの協力意向をめぐる実証研究 ブール代数アプローチを用いた試論的検討	竹中 祐二
B21-01	能登半島地震被災障害者の課題と支援ニーズの分析 テキストマイニングによる現場の声からの考察	謝 雪こう
B21-02	地域で暮らす身体障害者における災害時の備えと課題	古山 周太郎
B21-03	こども期の被災経験が家族形成に与える影響に関する研究 中高生時代に東日本大震災で被災した若者たちの語りから	清水 冬樹

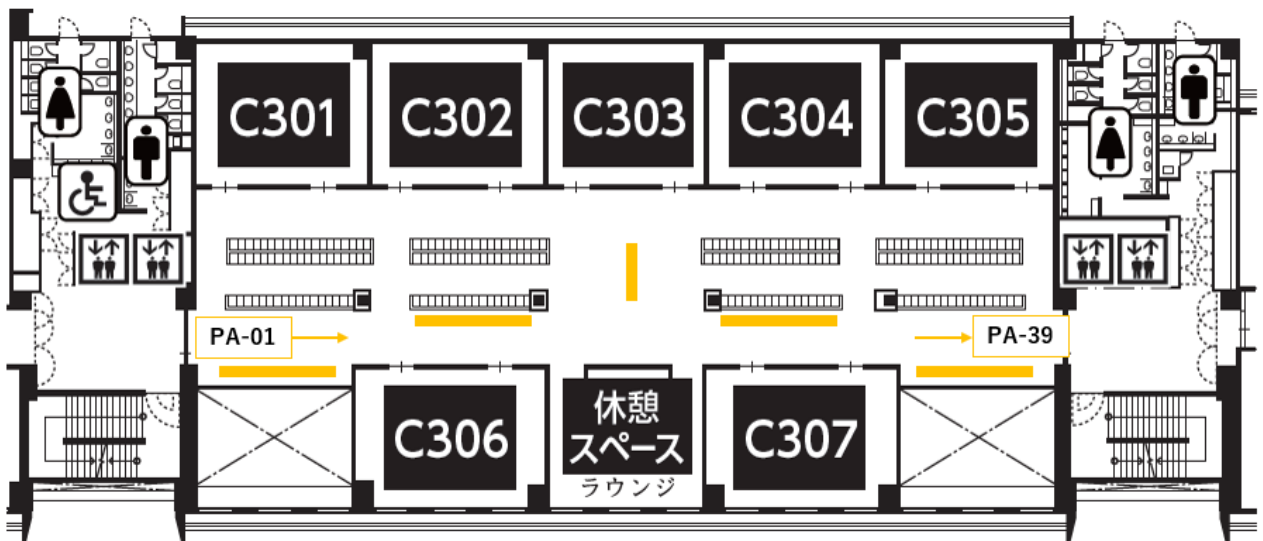
## 特定課題セッション 発表一覧

発表番号	題目	発表者
S1-01	ソーシャルアクションの担い手から、サービス提供への雇字搦めへ ケアとコントロールの実践的な枠組みを問い直す その(1)	竹端 寛
S1-02	ソーシャルアクションにおける「裁判」の意義 ケアとコントロールの実践的な枠組みを問い直す その(2)	中野 加奈子
S1-03	ケア労働/社会福祉実践としての保育と「ケアの倫理」	川池 智子

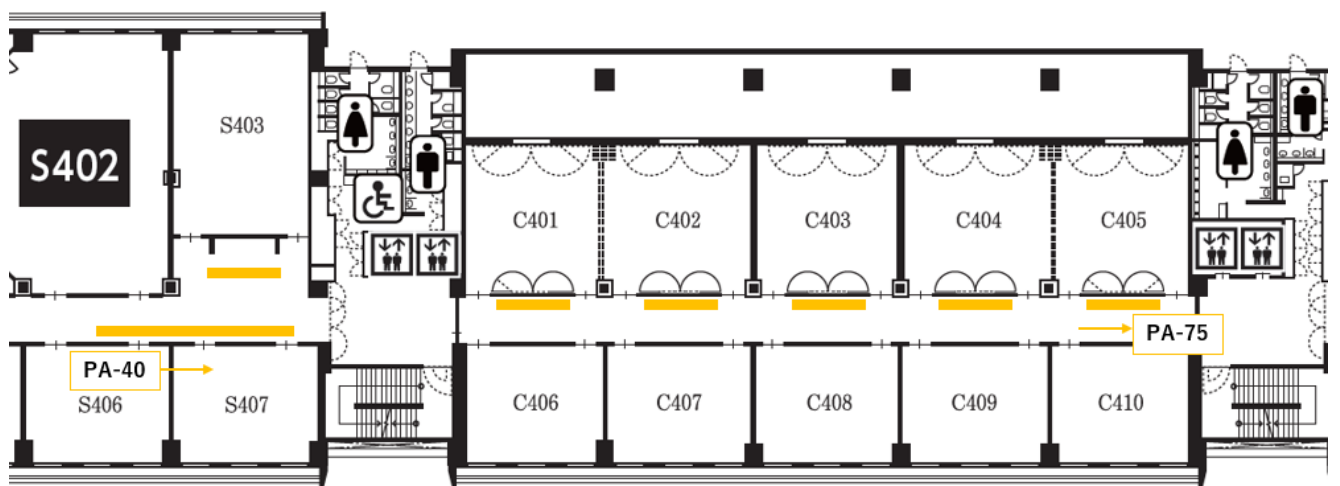
# ポスター発表

## ポスター掲示場所

3階 PA-01 ~ PA-39



4階 PA-40 ~ PA-75



## ポスター発表 発表一覧

発表番号	題目	発表者
PA-01	意思決定支援ガイドラインにおけるソーシャルワーカーの果たすべき役割	高瀬 幸子
PA-02	在宅高齢者に対する生活支援活動と住民参加 中山間地域住民自治組織による参加促進の方向性	坂本 俊彦
PA-03	障害児者にかかわるボランティア活動のインセンティブに関する研究	守本 友美
PA-04	カナダにおけるコミュニティワークの研究 コミュニティワーカーの専門性とその役割をめぐる議論に着目して	岡野 聡子
PA-05	フレイルへの社会的側面に対する社会福祉の対応 先行研究の整理からの考察	長谷川 武史
PA-06	地理情報を活用した「通いの場」とその地域特性に関する研究 岡山県X市のオープンデータを基に	黒宮 亜希子
PA-07	福祉コミュニティ形成とコミュニティ・オーガナイズイング実践の検討 NPO法人Xを事例として	竹内 友章
PA-08	世界の盲導犬育成団体によるインターネット啓発の実態調査	甲田 菜穂子
PA-09	岐路に立つ保護雇用制度 スウェーデンにおけるサムハル社を事例に	福地 潮人
PA-10	外国につながる家庭と子どもの育ちを支援する意義と課題 外国人家庭への子育て支援に関する文献の研究	小川 知晶
PA-11	生活困窮者自立支援事業の相談員に求められるスキルとその習得方法	村山 陽
PA-12	稼働年齢層の「子」を含む複数人世帯の生活困窮 生活困窮者自立相談支援事業相談者調査より	朝比奈 朋子
PA-13	当事者の視点から見た貧困 意味・エイジェンシー・制約	陳 勝
PA-14	イギリスにおける捕捉率の推計方法の展開と推移	天谷 宙詩
PA-15	「介護職員処遇改善加算」と「介護職員等特定処遇改善加算」の取得 に関する現状と課題に関する検討内容	坂本 圭
PA-16	医療ソーシャルワーカーによる研究動向 『医療と福祉』掲載論文からの検討	赤澤 輝和
PA-17	医療ソーシャルワーカーの社会的認知向上を阻害する事例	平田 明日香
PA-18	デンマークにおける刑務官教育 ノーマライゼーションの国に学ぶ	深谷 裕
PA-19	福祉的支援が必要な非行少年・若年犯罪者に対する 社会復帰支援 のあり方に関する一考察 ノルウェーにおける矯正サービスとの比較を通して	北川 裕美子
PA-20	保育士養成課程における施設実習に関する研究の概観 福祉系科目との関連に焦点を当てて	田中 結香
PA-21	福祉系大学生のボランティア活動と障がい者に対する態度 継続的調査による	岡村 綾子

発表番号	題目	発表者
PA-22	介護福祉職における看取り教育に関する教育内容の現状と課題 介護福祉士養成課程の教科書分析	小川 智子
PA-23	超多様性下におけるソーシャルワーク教育・福祉教育の在り方に関する考察 日本における多文化教育の知見を参考に	松岡 克尚
PA-24	地域にある福祉団体との連携に基づくガーデニング活動実践研究 放課後等デイサービスとの協働に基づくしょうがい児の余暇支援	林 典生
PA-25	東日本大震災後に被災高齢者が移住先で自宅再建を決定した要因 被災高齢者へのインタビューからの検討	小野寺 悦子
PA-26	災害時の在宅高齢者避難を町内会組織で考える A町内会における防災ワークショップより	阿部 利江
PA-27	栃木県における廃娼運動 1899(明治32)年を中心に	荻野 基行
PA-28	一般市民の社会的課題の解決志向性と生活満足度、SOC及び地域 への連帯感との関連	井上 信次
PA-29	小規模自治体で策定されている地域福祉計画の計画期間に関する 一検討	泉田 信行
PA-30	脱<ひきこもり>支援施策への提言 あいまいな支援が見逃すもの	檜垣 昌也
PA-31	短期入所生活介護における生活相談員業務の実態 予約業務と稼働率管理に着目して	口村 淳
PA-32	著名人の自殺報道に関する研究 厚生労働省ホームページ「著名人の自殺に関する報道にあたって」	藤原 幸子
PA-33	予防予測的な家族支援のあり方 世代移行期に向けた準備支援策の必要性	木戸 宜子
PA-34	インクルーシブ社会における生産システムの考察 障がい特性を優先する自律分散システムの連なり	青柳 修平
PA-35	人口減少地域から限界化する定常態の集落实態とソーシャルワーク 実践の必要性 集落の住民とソーシャルワーカーによる支援の考察から	御前 由美子
PA-36	福祉サービスの質の向上をめざした個別支援計画検討システムの 試行調査 生活機能の変化に着目した個別支援計画作成支援の有効性の検討	重田 史絵
PA-37	キャンパスソーシャルワークに関する先行研究レビュー	清水 明紀子
PA-38	権課題に対する日本のソーシャルワークの「認識枠組」	古川 隆司
PA-39	社会的養護経験者が抱えやすい子育て困難の検討 虐待重篤事例における子育て困難が生じる過程の分析	吉村 美由紀

発表番号	題目	発表者
PA-40	学齢期のきょうだい児に対する予防的支援 保護因子に着目して	滝島 真優
PA-41	乳児院看護師による子どものニーズへの支援 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ(M-GTA)を用いた検 討	西田 英子
PA-42	特別養子縁組に子どもを託した生みの親の状況とニーズ 欧米における養子縁組関連機関の生みの親向けサイト等の検討か ら	西岡 弥生
PA-43	スクールソーシャルワーカーの仕事満足度とその関連要因 スクールソーシャルワーカーへのアンケート調査を通して	山口 倫子
PA-44	社会的養護下で大学進学した事例の生活支援の課題 継続養育について	平松 喜代江
PA-45	社会的養護経験者への地域生活支援 公的医療保険に焦点をあてて	松尾 祐子
PA-46	子どもと子育て家庭を包括的に支援するための「把握・発見機能」 こども家庭センターでの取り組み	岡正 寛子
PA-47	大学における子ども・若者ケアラー支援の現状 キャンパスソーシャルワーカーへの調査から	長沼 洋一
PA-48	ヤングケアラーの支援体制に関する一考察 要保護児童対策地域協議会での対応に向けて	福井 未来
PA-49	自閉スペクトラム症児の兄弟姉妹の有無と母親の心理的適応 テキストマイニングによる分析	太田 雅代
PA-50	嘔吐恐怖を呈する知的障害者への暴露療法における行動介入の効 果 精神科デイケアと就労移行支援事業所の支援連携を事例に	松田 光一郎
PA-51	地域特性に応じた発達障害児の就学から就労を見据えた多領域連 携による支援体制整備に向けた研究	村岡 美幸
PA-52	国立コロニーのぞみの園の退所者 地域移行の取り組み以前に関する文献調査	原田 玄機
PA-53	知的障害者の成年後見制度利用と意思決定支援 第二期成年後見制度利用促進計画の検討	古井 克憲
PA-54	肢体不自由当事者とその家族における「自立観」と相違の変遷(1) 「ナラティヴ」を用いたインタビュー調査に焦点を当てて	Mayo Hemmi
PA-55	ソーシャルワーカーの高次脳機能障害当事者が講演活動で思いを 伝える際の困難さの構造 ある当事者と研究者の共同事例研究の試み	野村 脩
PA-56	児童発達支援センターの利用者満足度に影響する要因の検討 「児童発達支援ガイドライン」に基づく保護者評価の公開データを用 いた定量分析	木村 将夫
PA-57	高齢者と障害者の看取り・終末期に関する研究の動向と課題 論文タイトルを対象とした計量テキスト分析	奥西 允
PA-58	知的障害当事者と同居している家族が抱える子どもの将来への思 い	長濱 章雄
PA-59	ミクロ実践からマクロ実践へ向かうソーシャルワークに関する一考 察 自立生活支援を実施する介助者らの語りから	伊藤 葉子
PA-60	社会的孤立状態にある障害者に対する支援に関する探索的検討 自覚二ードの無い精神障害のあるクライアントへのアウトリーチ実践 から	川辺 茉侑



発表番号	題目	発表者
PA-61	自立支援協議会における知的障害者の権利に関する取り組みについての横断研究 当事者参加と関連する要因の分析	米倉 裕希子
PA-62	障害学生の高等教育進学プロセスに関する質的分析 発達障害者を対象とするインタビュー調査から	堀 兼大朗
PA-63	精神障害者家族の意識変容過程に関する質的研究 家族会に参加する父親へのインタビュー調査から	丸山 恵理子
PA-64	相談支援専門員の人材育成に関する研究 法定研修と実地教育の連動に関する質問紙調査より	相馬 大祐
PA-65	障害当事者の意見把握における地域自立支援協議会障害当事者部会の有効性	萬代 由希子
PA-66	他者の「介護良いこと日記」を読む効果に影響する要因の検討 介護に対する肯定的評価に注目して	栗延 孟
PA-67	高齢者介護施設における理念浸透の実態 施設長の理念浸透の構造と法人(事業所)における理念浸透策の影響	種橋 征子
PA-68	地域若者サポートステーションにおける中年者の孤独・孤立対策の実態 中年期からの孤独・孤立予防に向けた相談機関の役割を考える	長谷部 雅美
PA-69	中小規模の市町村の医療・高齢者介護サービス提供体制の地域パターンの分析 過疎、離島、無医地区指定状況、将来推計人口を考慮した市区町村データによる分析	小島 克久
PA-70	地域ケア個別会議と地域ケア推進会議の連動に関する現状と課題 資源開発・政策形成に繋げていくために	檜木 博之
PA-71	意思決定支援に関する専門職の関わり方の現状 医中誌WEBを対象とした意思決定支援者に関する文献研究	吉田 隆宏
PA-72	韓国の超高齢社会における高齢者の余暇・社会活動に関する探索的研究	崔 恩熙
PA-73	特別養護老人ホームにおける地域貢献活動に対する課題認識と方向性 地域連携担当職員を対象としたアンケート調査での自由記述回答より	神部 智司
PA-74	介護支援専門員の仕事に対する姿勢 クワイエット・クイitting(静かな退職)に焦点をあてて	増田 和高
PA-75	Coercive control(強圧的コントロール)の理解とその重要性 女性支援の進展に向けて	岩本 華子

# 協賛等一覧

(順不同・敬称略)

## ■プログラム冊子広告

---

有限会社 川島書店	株式会社 有斐閣
株式会社 ミネルヴァ書房	株式会社 学文社
公益財団法人 鉄道弘済会	株式会社 旬報社
株式会社 小学館集英社プロダクション	株式会社 ライトストーン
中央法規出版株式会社	社会福祉法人 全国社会福祉協議会

## ■書籍展示

---

株式会社 明石書店	株式会社 晃洋書房
株式会社 小学館集英社プロダクション	株式会社 生活書院
中央法規出版株式会社	公益財団法人 鉄道弘済会
株式会社 ミネルヴァ書房	株式会社 ライトストーン

## ■協力

---

東海市

日本福祉大学

日本社会福祉学会第72回秋季大会の開催にあたり、皆様よりご協力いただきました。  
深く御礼申し上げます。

日本社会福祉学会第72回秋季大会  
大会長 原田 正樹  
実行委員長 保正 友子



松田次生 著

ボランティア活動のゆくえ

さまざまな紆余曲折を経てきた我が国のボランティア活動の歴史の経緯を見直し、ボランティア活動そのものが抱える潜在的な危うさを明らかにするとともに、今後の望まれるボランティア活動のあり方を考察する。

3,080 円

倉田康路 著

人を支える誠意

誠意の概念を人を支える社会福祉実践の場面にあてはめ、その取り組みに通じる誠意とは何かについて探求するものである。人を支える誠意の形成にむけて援助者と利用者との関係性の広範に渡る調査から探っていく。

3,300 円

加茂陽 著

包括的支援法の体系化を目指して

問いかけという日常的な言葉をもととし、生活場面での問題解決、即ち新たな知の生成への支援法を提示する。ラディカルに変容を加えた評定法、問題解決法、そして効果測定法は、既存の支援論が提示する問題解決法の曖昧さに悩む実践者の支援活動に貢献する。

3,850 円

村田久行 編著

苦しみを和らげる認知症ケア

認知症の人の苦しみは深い。介護する人の苦しみも深い。この本は、認知症の人も介護する人も互いに「わかってもらえない苦しみ」から抜け出し、認知症の人とケアに携わる人々の命と生きる意味が回復することを願った書かれた。

3,080 円

是枝喜代治・蒲生としえ 編著

ASD・知的障害のある人の包括的支援

障害児者支援施設の利用者個々人の障害特性の理解、具体的な支援方法、関わり方のノウハウなどを、長年にわたり知的障害児者やASDの相談、支援、診断に携わってきた現任者が支援の実際を解説する。

3,080 円

(価格は税込)

地域福祉マネジメントと評価的思考

重層的支援体制整備の方法

平野隆之 著

A5判 定価3850円

コミュニティソーシャルワーク

菱沼幹男 著

A5判 定価3190円

ソーシャルワーカーのための法学入門

権利擁護の担い手となるために

永野仁美・大橋真由美・笠原千絵・高山恵理子・羽生香織・巻美矢紀 著

A5判 定価3190円

コミュニティ・オーガニジングの理論と実践

領域横断的に読み解く

室田信一・石神圭子・竹端寛編

A5判 定価4620円

ライフプランと自己実現

女性のキャリアと生き方

橋本嘉代・高丸理香・岡村利恵 編

有斐閣ブックス A5判 定価2640円

挑戦するフェミニズム

ネオリベラリズムとグローバル化を超える

上野千鶴子・江原由美子 編

A5判 定価3190円

私たちの社会福祉は可能か

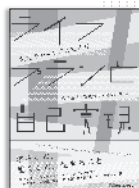
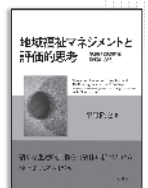
岩田正美 著

予価2420円 四六判

12月近刊 畑本裕介・木下武徳 著

これからの福祉政策

予価2200円 YKnot 四六判



[近刊]

# 新しい地域福祉の「かたち」をつくる

伊藤葉子／川村岳人／中田雅美／橋川健祐／三好禎之編著 ●「福祉コミュニティ」概念に  
基づく政策・実践の統合 実践から政策までを統合的に捉えた書。[10月刊行予定]

# 文化としての保護司制度

立ち直りに寄り添う  
「利他」のこころ

今福章二編著 保護司制度について多角的・総合的に研究を進める保護司みらい研  
究所における議論を紹介し、「保護司」の本質に迫る。 \*24頁 1980円

# 人口減少時代の生活支援論

小松理佐子／高野和良編著 ●地域のつながりを維持・再生する 過疎地域や地方都  
市を事例に、多面的な視点から支援のあり方を探る。 \*264頁 4400円

# 学校福祉実践論

子どもにとってしあわせな学校をつくる多職種協働  
鈴木庸裕編著 生きづらさをもつ子どもへのケアとともに、学校の福祉的機能を担う  
多職種協働の目的と価値、方法と技術をめぐる理論と実践を提案。 \*280頁 3080円

# まちづくりによる介護予防

平井 寛／竹田徳則／近藤克則著 ●「武豊プロジェクト」の戦略から効果評価まで  
ポピュレーション戦略による介護予防の記録と解説。 \*260頁 3080円

# 就労支援政策にみる福祉国家の変容

阿部 誠編著 ●7カ国の分析による国際的動向の把握 就労支援政策を通して転換  
期にある現代福祉国家の特徴・多様性を捉えた一冊。 \*264頁 5500円

# 韓国における公的医療保険と財政

小笠原信実著 ●医療の公共性と社会保障財源 医療の市場化がもたらす問題を詳  
細に検証、政府は医療をいかに支えるべきかを考察する。 \*344頁 6050円

# 在宅育児手当の意義とあり方

自治体による新たな  
現金給付とその可能性  
安藤加菜子著 「親による世話」に現金を給付する在宅育児手当を総合的に捉え、意  
義やあり方を探る。[本年度自治体学会賞(研究論文賞)受賞] \*304頁 6050円

# 社会デザインをひらく

中村陽一監修 志塚昌紀／川中大輔 菅井 薫／川田虎男編著 今後いかにして住みや  
すい社会をつくらなければならないのか、という問いへのヒントを示す。 \*282頁 3300円

# すき間の哲学

世界から存在しないことにされた人々を扱う  
村上靖彦著 誰も取りこぼされない社会の実現に必要なものとは。 \*296頁 2750円

ミネルヴァ書房

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1 \*表示価格税込 目録呈呈  
TEL 075-581-0296 FAX 075-581-0589 www.minervashobo.co.jp/

淑徳大学研究叢書 37

## 基礎看護技術の修得における 初学者に対する教授者のはたらきかけ

—初学者自身が“感じをつかむ”ことに焦点をあてて

●牧野美幸 著 定価3,630円

基礎看護技術の演習において、初学者が“感じをつかむ”ことについて、教員がどのような働きかけをしているのかを明らかにする。



## ケアリングコミュニティの理論

—社会福祉の新しい地平を拓く地域福祉のメタ理論

●大石剛史 著 定価5,610円

地域福祉の実践や理論の根拠となる福祉のメタ理論の思想哲学的探究を行う。ケアリングコミュニティの概念を核とし実践について考察。



## 高齢者に対するシームレス ケアの実践

—人生100年時代に向けて

●小木曾加奈子 編著 定価3,300円

人生100年時代に向けての看護のあり方、高齢者エンドオブライフ等を紹介。地域包括ケアにおける高齢者ケアに役立つ。



## 郷堀ヨゼフ 監修 研究シリーズ 仏教ソーシャルワークの探求

ソーシャルワークの代替的な機能を担ってきた寺院や僧職者の福祉実践活動を事例として検討、SWの「価値」や「社会資源」としての仏教の可能性を探求するシリーズ。

## 東アジアにおける仏教とソーシャルワーク

—韓国・日本編  
●藤森雄介・郷堀ヨゼフ 編著 定価1,650円

## ネパールとブータンにおける仏教と ソーシャルワーク

●郷堀ヨゼフ・佐藤成道 編著 定価1,650円



## 福祉社会学文献ガイド

●福祉社会学会 編/高野和良 編集代表  
亀山俊朗・寺田貴美代・富江直子・森川美絵・米澤旦 編集委員  
定価3,850円  
福祉社会学における文献を紹介。福祉社会学の多様な領域を概観。

## 児童養護施設の生活環境のダイナミクス

—家庭で暮らせない子どもの育ちと職員の実践  
●山口季音 著 定価2,750円  
家庭で暮らせない子どもの育ちの実態に迫るフィールドワーク調査研究の書。

## 高齢者ケアの質を高めるICFを 活かしたケアプロセス 第三版

●小木曾加奈子 編著 定価3,630円  
高齢者を取り巻く社会環境、ケアの概念と多職種の連携、ICF活用方法等を紹介。

## 子どものうつと問題行動・不登校の関連

—「うつ」という子どものSOSと学校ができる支援  
●周防美智子 著 定価3,300円  
不登校等の要因について、メンタルヘルスの課題となる「うつ」の視点から検証。

## 共生論 —実存から平和へ

●福田鈴子・砂子岳彦 著 定価3,850円  
平和をもたらし共生についての研究。「内属性共同性」をキーワードに論じる。

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1  
http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012  
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

# 社会福祉研究

第149号 2024年4月発行

定価 2,000円+税 送料実費

特集：「ケア」の明日を考えるー福祉人材のこれからー

総論 福祉の働き手となるということー福祉の価値ー

社会福祉法人横須賀基督教社会館理事長 岸川 洋治

各論 外国人福祉人材と共に働くということ

合同会社Omusubi代表 松浦 聡

なぜケア労働は女性職なのか

実践女子大学 山根 純佳

若者の福祉分野における進路・職業選択とキャリア教育・支援

昭和女子大学 北本 佳子

論文 地域福祉における社会的企業の役割と可能性

立命館大学 桜井 政成

高齢者の移動支援と地域包括ケアシステムの連携

名城大学 大野沙知子

●巻頭言 ●随想 ●2023年社会福祉の回顧と展望 ●海外の動向 ●国内の動向 ●書評 ほか

第150号 2024年8月発行

定価 2,000円+税 送料実費

特集：社会福祉の研究と実践の明日を探るー21世紀の社会福祉の到達点と新たな課題ー

社会福祉基礎構造改革以降の社会福祉の歩みを「批判的」に振り返る

日本型市民社会と生活保障システムの構造と変容

東京大学大学院 仁平 典宏

ー2000年代以降の社会保障政策の展開と市民活動の位置に着目してー

社会福祉とマイノリティ

性風俗の世界で孤立・困窮している女性への支援

NPO法人風テラス理事長 坂爪 真吾

アイヌ民族に対する社会福祉の歴史と現状

元共同通信社記者 青柳絵梨子

社会福祉の位置を問い直す

テクノロジー／エンジニアと社会福祉ーメディアデザインの観点からー

情報科学芸術大学院大学 小林 茂

座談会：21世紀の社会福祉の到達点と新たな課題

東京大学大学院 笠木 映里 明治学院大学 金子 充 武蔵野大学 木下 大生 東京都立大学 室田 信一

元立教大学教授 平野 方紹 (司会)

■書店売り

■直接購読は、  
右記へお申し込みください。

●巻頭言 ●「第60回社会福祉セミナー」報告 ●随想 ●実践報告 ●国内の動向 ほか

公益財団法人鉄道弘済会『社会福祉研究』編集室

〒112-0002 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデンゲートタワー19階 TEL 03-6261-2790



本誌  
詳細



ご注文

## 漂流するソーシャルワーカー

新刊

志賀信夫・加美嘉史 編著 福祉の担い手としての自分とコスト抑制や能率向上が優先される労働者としての自分との板挟みで苦悩するソーシャルワーカー。このジレンマをどう乗り越えればいいのか。

1980円

## なぜ罪に問われた人を支援するのか？

新刊

犯罪行為を手離す方法をさぐる

掛川直之 編著 罪に問われた人（当事者）と彼らを支える人（支援者）6人がみずからの生活史を語る異色のインタビュー集。

1870円

## エッセンシャルワーカー

社会に不可欠な仕事なのに、なぜ安く使われるのか

田中洋子 編著 教員、スーパー従業員、介護士、ドライバー……、本物の仕事なのになぜ低待遇なのか？ 頭でっかちで手足をかせ細らせた日本社会をアップデートするために。

2750円

## コロナ「留め置き死」医療を受けられなかった人たち

横山壽一・井上ひろみ・中村暁・松本隆浩 編著 しゃむをえなかつたでは済まされない！ コロナに感染し医療が必要であったにもかかわらず施設に留め置かれ亡くなった人がいた。

1870円

## 大川総裁の福祉論！ 知的障がい者と「食う寝るところ、住むところ」

大川 豊 著 芸人・大川総裁が福祉の現場に突撃！ 「地域移行」だけが選択肢じゃない！ 福祉の当たり前をひっくり返す知的障がい者とかかわる12人のプロと考えた「ミライの福祉」。

1870円

## International Social Work of all People of the World SECOND EDITION

秋元樹・東田全央・松尾加奈 編著 新たな国際ソーシャルワークの概念的構築を試みる意欲的な一冊。

3300円

## 世界の社会福祉年鑑 2024

特集：外国人介護と社会福祉

高齢化と介護者不足に直面してきた欧米やアジア地域の国々において、経済、社会状況や文化の異なる国々において、外国人介護者をどのように社会経済システムに取り込んできたのか。

11月末  
刊行予定

16500円

旬報社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 544 中川ビル4F TEL03-5579-8973 FAX03-5579-8975

税込価格



# “生きる力”の形成に 役立つ教材プログラム

誰もが安心して暮らせる未来のために。  
“共生のための教育”を形にしたワークブックを販売しています

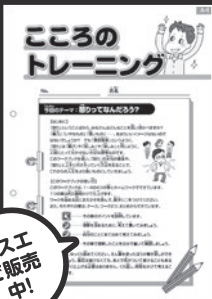
小学館集英社プロダクションは1967年に小学館の系列会社として設立されて以来、教育事業とエンターテインメント事業を柱に事業を展開してきました。その理念は「エデュテインメントを通じて、人生をより前向きに、より豊かに!」。学びに楽しさをプラスすることで、子どもから大人まで幅広い方に対して教育を提供しています。そのノウハウを活かし、本オンラインショップでも「楽しみながら学びが身に着く」親しみやすく始めやすいプログラム教材を提供しています。

どれも認知行動療法や臨床心理学、健康科学などの専門家による監修を経て制作されており、「自分の心との付き合い方」「仕事や生きがいの考え方」「いつまでも健康でいるための運動能力保持」など、より良い日常生活を長く送るために役立つ要素が多く含まれています。

これらワークブックは、ShoPro 矯正教育オンラインショップ -ase (アスエ) -にて販売しておりますので、ぜひアクセスしてみてください。

## 新・こころのトレーニング

認知行動療法を取り入れ、たくさんのイラストと分かりやすい文章で、自分の心の動きの理解や問題解決方法を習得することを目的とした自学自習型ワークブックです。



アスエで販売中!

### こんな方におすすめ

- 怒りをうまく表現できない方(すぐ怒る、怒りをおさえられない、逆に怒れない、など)
- ゆうつな気分、不安感、意欲や集中力の低下、イライラ感などに悩まされている方
- 認知行動療法を試してみたい方

## わくわく仕事ワーク

仕事に就く上での基礎となる「なぜ働くのか」「生きがいは」「自分にはどのような特性があるのか」「仕事をする上での基礎力とは」という4つの視点から“仕事をする意味”を考えさせるワークブックです。



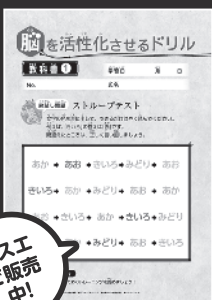
アスエで販売中!

### こんな方におすすめ

- キャリア教育の副教材をお探しの方
- 就職や転職をするにあたり、働く意味ややりがいについて考えたい方
- ニート、フリーターから脱し正社員として働きたい方

## 脳を活性化させるドリル

脳を活性化させる「読み・書き・計算」を楽しみながら行いつつ、自らの人生をじっくり振り返る内容。日常生活の知的刺激として、また、コミュニケーションツールとして活用可能です。気軽に導入できるシニア向けプログラムとして、ぜひご活用ください。



アスエで販売中!

### こんな方におすすめ

- 高齢者施設のレクリエーション導入をお考えの方
- 認知症予防として何か始めたい方
- 65歳からの生きがいを見つけたい方

ShoPro矯正教育オンラインショップ

ase -アスエ-



ネットショッピングサイトでのご注文の他、FAX注文も承っております。詳しくは下記電話番号、メールアドレスにお問い合わせください。

# 質的データ分析なら

# MAXQDA

日本社会福祉学会  
ご来場者様限定!

無料

# 特別ライセンス

利用期限: 2024年11月30日(土)

## & MAXQDA使い方ガイド (PDF)

## ライトストーンブースにて申し込み

技術スタッフによる  
相談会開催中!

MAXQDAの妖精まっきゅすクン



開発元

**VERBI** | Software – Consult –  
Sozialforschung GmbH  
VERBI Software, Consult, Sozialforschung GmbH

正規国内代理店

**LightStone®**  
株式会社ライトストーン

創業30年の経験と実績でお客様をサポートします。

**Ubiquitous AI**  
Group Company

〒101-0031

東京都千代田区東神田2-5-12 龍角散ビル7F

TEL 03-3864-5211 E-Mail: sales@lightstone.co.jp



<https://www.lightstone.co.jp/>



# エンサイクロペディア 社会福祉学／増補版（仮称）

2025年1月  
刊行予定！

- 古川孝順＝編集代表
- 今井小の実、岩崎晋也、金子光一、空閑浩人、柴田謙治、湯澤直美＝編集幹事
- B5判・500頁（予定）
- 予価22,000円（税込）

わが国の社会福祉学が体系的に理解できる総合事典、待望の続編刊行。初版発行から17年が経過し、社会福祉および社会福祉学を取り巻く環境が大きく変化する中、近年の動向、最新の研究成果、今議論しておくべき課題や今後の方向性を明らかにし、現時点における社会福祉学研究所の到達点をまとめる。

※商品画像は初版のものです。

## 現代社会福祉分析の 再構築



- 古川孝順＝編著
- A5判・444頁 2022年9月発行予定
- 定価5,940円（税込） ISBN978-4-8058-8772-1

研究領域が拡大・細分化する現代社会福祉学の分析枠組を再構築。社会福祉の歴史を資本主義の発展過程と結びつけて整理し、現代社会福祉の基軸・形成過程・展開・諸問題を最前線で活躍する学者達が鋭く論説。

## 地域福祉とは何か

哲学・理念・システムとコミュニティソーシャルワーク



- 大橋謙策＝著
- A5判・306頁 2022年4月発行
- 定価3,300円（税込） ISBN978-4-8058-8459-1

地域共生社会を実現するためのキーワードである地域福祉。社会福祉学の第一人者である著者が、地域福祉の理論と課題、地域自立生活の考え方などについて、コミュニティソーシャルワークの視座から論考する。

## ソーシャルワーカー 養成教育の回顧と展望



- 白澤政和＝著
- A5判・456頁 ●2023年11月発行
- 定価6,050円（税込） ISBN978-4-8058-8949-7

日本ソーシャルワーク教育学校連盟の会長などを務め、長年ソーシャルワーカー養成に尽力してきた著者による論文集。自身の数多くの論文を整理し、ソーシャルワーク教育の歴史を振り返るとともに、その将来を展望する。

## 戦後の社会福祉論争 第2版



- 京極高宣＝著
- A5判・290頁 ●2024年8月発行
- 定価4,950円（税込） ISBN978-4-8243-0114-7

日本型福祉社会論に対する総括的批判、福祉専門職資格法や介護保険法の制定をめぐる論争、国民負担率をめぐるマクロ的政策論争など、1970年代から2010年代まで著者が関わった「社会福祉論争」を書籍化。本書は本文に幾つかの訂正を加えた第2版。

※商品画像は初版のものです。

## ソーシャルワーク・トリートメント 第6版



- フランシス・J・ターナー＝編／北島英治＝監訳／上田洋介＝訳
- B5判・748頁 ●2023年9月発行
- 定価22,000円（税込） ISBN978-4-8058-8950-3

1974年以来改訂を重ね、世界中で読み継がれてきた『Social Work Treatment／第6版』の全訳。ソーシャルワークの理論的アプローチをまとめた研究書の決定版。第6版では38の理論とそれに基づくプラクティスを収載した。

## ソーシャルワーク実践における 意思決定支援

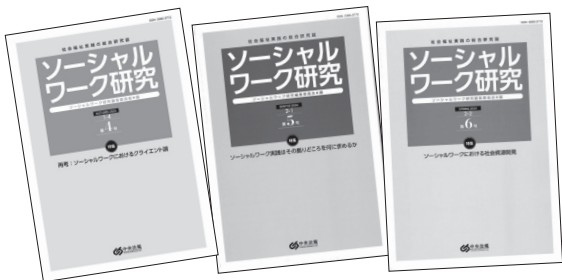
ミクロ・メゾ・マクロシステムの連鎖的变化に向けたエンパワメント



- 公益社団法人日本社会福祉士会＝編集
- B5判・216頁 ●2023年8月発行
- 定価3,080円（税込） ISBN978-4-8058-8922-0

好事例をもとに、ソーシャルワーク実践における意思決定支援の理解を深める一冊。複雑化・多様化する生活課題に対し、ミクロ・メゾ・マクロシステムの連鎖的变化に向けたエンパワメントを基盤とした意思決定支援を行うために必要な知識などを解説。

## 社会福祉実践の総合研究誌



## ソーシャルワーク研究

- ソーシャルワーク研究編集委員会＝編
- B5判・約80頁 ●年4回（1月・4月・7月・10月）発行
- 定価1,650円（税込）／年間購読6,600円（税込）

1975年より業界で長らく愛読されてきたソーシャルワークの研究誌を、2023年より中央法規からリニューアルして刊行。第一線で活躍するソーシャルワークの専門家の知見を紹介し、「誰もが購読できて、誰もが投稿できる」研究誌を目指す。新たなソーシャルワークの魅力を発信する。



生活困窮者自立支援制度は  
社会保障の新たなステージの  
幕開けだった

宮本 太郎  
(中央大学法学部教授)



生活困窮者自立支援から  
地域共生社会へ  
―証言からたどる新たな社会保障の創造―

### 生活困窮者自立支援制度の 形成過程

生活困窮者自立支援制度が創設されたことの意味や成立過程をその中核を成した10人の証言から検証。

編著／宮本 太郎 菊池 馨実 田中 聡一郎  
●A5判・450頁 ●定価4,950円(税込)



詳しくはこちら

社会福祉士養成テキスト

## 社会福祉 学習双書 2024

全15巻

『社会福祉学習双書編集委員会 編』

全15巻セット44,110円(税込)

1冊からでもご購入いただけます  
※各巻定価 2,420～3,410円(税込)



各界を代表する著名人が執筆・編集を担い、最新の情報・知識をより深く探求し、より幅広く理解できる、真のソーシャルワーカー養成テキストです。

最新情報に年次改訂!

- 第1巻 社会福祉の原理と政策
- 第2巻 福祉サービスの組織と経営
- 第3巻 高齢者福祉
- 第4巻 障害者福祉
- 第5巻 児童・家庭福祉
- 第6巻 社会保障
- 第7巻 貧困に対する支援
- 第8巻 地域福祉と包括的支援体制
- 第9巻 ソーシャルワークの基盤と専門職
- 第10巻 ソーシャルワークの理論と方法
- 第11巻 心理学と心理的支援
- 第12巻 社会学と社会システム／社会福祉調査の基礎
- 第13巻 権利擁護を支える法制度／刑事司法と福祉
- 第14巻 医学概論／保健医療と福祉
- 第15巻 介護概論



詳しくはこちら

社会福祉の新しい方向を探る総合月刊誌

## 月刊福祉

毎月6日発行

●B5判・104頁  
●定価 1,170円(税込)

※2024年4月号まで1,068円(税込)



詳しくはこちら

定期購読は送料無料でバックナンバーも1冊からご購入いただけます

特集／最新の主要テーマを第一人者による論文、座談会、実践レポートなどで論点を深掘り!

- 11月号 居住支援を広げるために
- 12月号 更生保護と地域福祉をつなぐ(仮)

2024年  
バックナンバー

- 1月号 人材確保の未来を考える
- 2月号 第三者の視点を入れる、利用者の声を聞く
- 3月号 「共に生きる力」を育む
- 4月号 報酬改定から見通すこれからの社会保障
- 5月号 真に子どもの声を聴く、その先にある社会
- 6月号 身寄りのない人を地域で支える
- 7月号 認知症とともに
- 8月号 施設の整備・再生産を考える
- 9月号 災害時支援の今とこれから  
―能登半島地震での対応から見えたもの
- 10月号 合理的配慮でまちを豊かに  
―ユニバーサルツーリズムが拓く地域の未来

## 改訂増補 (復刻版) 生活保護法の解釈と運用

小山進次郎 著 ●A5判・986頁 ●定価 8,030円(税込)

- 送料無料で(本書に限り)
- 電子書籍版も刊行!

詳細 電子版のご購入はこちらのホームページへ!



限定  
復刻

今も語り継がれる  
生活保護法  
の精神。  
現代もなお  
学ぶべきものが多い  
関係者必読の書。

- ◆本書は原行「生活保護法」の制定時(昭和25年)に初版刊行。
- ◆わが国の公的扶助制度の歴史、生活保護法の成り立ち、現行生活保護法とその運用を逐条解説しています。

※本書は昭和50年の版をオリジナルのまま復刻しており、文字にかすれ等がありますので、予めその旨ご了承ください。



日本社会福祉学会  
*Japanese Society for the Study of Social Welfare*